

## KAGAWA アンバサダーからのお便り～石見康雄さん～

『多文化共生社会に向けて』 - 国際協力/国際交流の現場より -

去る11月9日にパールガーデンホテル(高松市福岡町)で公益財団法人オイスカ四国支部の恒例行事『四国のつどい』に於いて、多文化共生社会に向けて興味深い2つのプレゼンテーションを行いまして、大勢の聴講者から好評を得ましたので紹介させていただきます。

1つ目は竹内一之氏(農場代表取締役)のプレゼンテーションです。

おじいちゃんからお父さん、そしてご本人は3代目の代表として海外研修生の人材育成に貢献しているキャベツ栽培と肉牛肥育をしている竹内農場(丸亀市綾歌町)の事例です。この農場は30数年前から今日に至るまで海外青年を家族の一員として受入れ、日本人職員と海外研修生と分け隔てなく、技術よりハートが大切に頑張る心を持つようにと励ましながら見守り育ててきたそうです。竹内氏が初めて海外青年と生活したのは小学4年生頃からのこと、以来、互いの文化習慣を理解尊重しつつ、同じ釜の飯を食べながら共に生活し、7ヶ国19人の外国人研修生(後に技能実習生)をお世話してきました。これは国境、民族、宗教、文化の違いを乗り越えて共に生き調和の社会を築くという理想的な事例と言えるのではと考えます。



竹内農場社長のプレゼンテーションより  
海外青年を家族の一員として受入れ、  
共に成長した日々を語る竹内社長



キャベツ畑にてキャベツを収穫する  
2代目竹内農場社長と研修生と社員

参考: 『3世代にわたる海外研修生受け入れ報告』

(YouTube) [https://www.youtube.com/watch?v=cZx\\_BN7que0](https://www.youtube.com/watch?v=cZx_BN7que0)

2つ目はマレーシア出身のガディ氏のプレゼンテーションです。

彼女は2011年に研修生として初来日、1年間家政研修を修了し、母国マレーシアに帰国、2回目は四国研修センターの職員として来日、今回は3回目の来日をして現在も当研修センター職員として大いに活躍しています。嘗ては研修生として日本語学習・技術・管理を学び体験をして成長し、今日は研修指導者としての立場に成長している事例です。日本のオイスカの職場には彼女のような海外職員が12名いて国内のオイスカ活動を支えています。



オイスカ四国研修センターにて  
研修生に豆腐作りを指導するガディ氏

参考：『「私とオイスカ」オイスカ研修生OGの母国マレーシアと四国での活動報告』  
(YouTube) <https://www.youtube.com/watch?v=bsWuDkrPjdc>

今や多くの訪日観光客が国内の観光地に押し寄せて賑わっているとのこと、日本の歴史、伝統、文化が海外の人々から大いに評価されていることはとても喜ばしいことであり日本の良さを守っていくことの大切さを感じています。一方、持続可能な共生の社会を築いていくうえで、国内では人口減少や就労者不足などの諸課題を抱えており、アジア太平洋そして国際社会との関わり方が問われていますが、2つのプレゼンテーション事例がその解決のヒントになれば幸いです。



**石見 康雄 (いしみ やすお) さん**

1996年から香港を拠点として植林再生活動や有機農業推進を通じた環境保全や青少年人材育成を推進。在香港日本国総領事館から「在外公館長表彰」授与。2022年1月に帰国し、4月からオイスカ四国研修センター所長を務める。

◇KAGAWA アンバサダーについて

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々に KAGAWA アンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されている KAGAWA アンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。